

令和 4 年 6 月 1 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H06108

研究課題名(和文)理・工・医学の連携による津波の広域被害把握技術の深化と災害医療支援システムの革新

研究課題名(英文) Fusion of sensing and simulation of tsunami damage assessment towards innovation of disaster medical system

研究代表者

越村 俊一 (KOSHIMURA, Shunichi)

東北大学・災害科学国際研究所・教授

研究者番号：50360847

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 128,200,000円

研究成果の概要(和文)：リアルタイムシミュレーションとセンシングの融合による「広域被害把握技術」を深化させ、津波被災地における災害医療システムの構築を通じて医療救護班の適時・適材・適所の配備に貢献することを目標として、理・工・医学の連携研究を推進した。津波の人的被害・物的被害の量的推定を可能にし、推定被害量から被災地の医療需要の質と量を即時的に推定するとともに、シミュレーションによる災害医療活動の予測・更新の方法論を確立した。これらの研究により、当初の目標である「広域被害把握技術の深化」を達成し、南海トラフ地震津波災害時の革新的な医療支援システムとしての実現可能性を高めることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究成果の最大の学術的価値は、理学・工学・医学が連携して、巨大災害の社会的影響の把握を明らかにする災害・被害予測の技術を、災害医療・被災地救援の情報技術として深化させたことである。災害医療に関する分野横断型研究の成熟に対して貢献できたことが大きな価値を生んでいる。本研究の成果を利用したリアルタイム津波浸水被害予測システムが国や自治体に採用され、訓練等でも活用されるなど、オープンイノベーションのロールモデルとしての意義も高い。

研究成果の概要(英文)：The project promoted collaborative research among science, engineering, and disaster medicine with the goal of enhancing resilience of disaster medical systems by integrating real-time simulation and sensing. Considering the catastrophic tsunami disaster concerned as future risks in Japan, we achieved three outcomes; 1) quantitative and rapid estimation of human and physical damage caused by the tsunami, 2) immediate estimation of medical demands in disaster affected areas, and 3) methodology for planning and updating disaster medical activities through multi-agent simulation. Through the project, we examined the required specifications for an innovative medical support system in the anticipated disaster process of future Nankai Trough earthquake and tsunami disaster that is expected to occur next 30 years.

研究分野：津波工学、空間情報科学

キーワード：津波災害 広域被害把握 災害医療 マルチエージェントシミュレーション リモートセンシング シミュレーション 高性能計算

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

国内外の巨大災害の経験を経て、取るべき災害対応行動の時系列を示した「タイムライン計画」や、被害状況から支援物資の量を推定・調達して緊急輸送する「プッシュ型支援」など、我が国の大規模災害への対応力と回復力（レジリエンス）向上への期待が高まっている。特にタイムラインは、全ての対応行動が「広域被害把握」を通じて進められる計画となっており、被災地の回復力向上を図るための「広域被害把握技術」への社会的要請は極めて高い。

代表者らはこれまで、リアルタイムシミュレーション/センシングによる早期被害推計・把握による新しい広域被害把握技術の枠組みを構築してきた。基礎研究、応用研究を経て、学術・実践の両輪での研究が進んでいた。

一方、2015年に災害医療分野で注目すべき重要な研究成果が公表された。東日本大震災で「防ぎ得た災害死” Preventable Disaster Death”」が少なくとも102件あったことを初めて明らかにされたのである。「防ぎ得た災害死」の原因として、発災後3日目以降からの医療需要の急増、医療需要と供給のギャップ（医療の空白）、医療救護班の適時・適材・適所の配備困難、医療物資不足、広域医療搬送の遅れなど、巨大津波災害特有となる問題が報告された。特に、医療需要の迅速な推定や災害医療の配備という課題に対して、「広域被害把握技術」を有効に活用する必要性が指摘されていた。

2. 研究の目的

代表者が構築した「広域被害把握技術」を深化させ、巨大地震津波災害の被災地での医療需要と供給のギャップ（医療の空白）を解消し、医療救護班の適時・適材・適所の配備に貢献して「防ぎ得た災害死」をゼロにすることを目的とする。

具体的には、1) 津波の人的被害・物的被害の量的推定を季節・時間に応じた動的な推定に深化させ、2) 推定被害量から被災地の医療需要の質と量を即時的に推定するとともに、3) 日々変化する医療活動の状況を入力条件としたマルチエージェントシミュレーションによる災害医療活動の予測・更新を通じて、医療資源が圧倒的に不足する・不確実状況下の最善の医療体制を明らかにする。この深化を達成することで、医療需要と供給のギャップ（医療の空白）を解消し、医療救護班の適時・適材・適所の配備を実現するための分析・意志決定機能を持つ革新的な「災害医療支援システム」を創生するという着想に至った。

本研究では、東日本大震災以上の激甚な被害が予想される国難災害（南海トラフの巨大地震・津波）を目前にし、数十万人を超えると予想される被災者が「防ぎ得た災害死」を免れて早期に生活の安定を取り戻すために、理学・工学・医学が連携して、災害・被害予測の技術を革新的な災害医療支援の技術へと深化する。災害医療資源の質・量が圧倒的に不足する・不確実状況下での最善の医療体制の構築に関する分野横断研究は、巨大津波による被害と医療需要の関連性が未解明であることを含めて、学術的には未成熟である。災害医学という学術領域の中だけの研究としては不十分で、これまでの研究分野を超えた新しい取り組みを進めることで、国難災害での災害医療の高度化に向けた取り組みに資することを目指す。

3. 研究の方法

具体的な研究の流れと役割分担を図1に示す。以下5つに大別される課題を設定し、研究チームを構成した。

課題1 全国規模の高分解能津波浸水リアルタイム予測と医療施設を含む建物被害の即時予測および複数センサを活用したリモートセンシングによる広域被害把握

広域被害把握の深化により、全国規模での高分解能津波浸水リアルタイム予測と医療施設・建物被害の予測および能動型センサの活用による広域被害把握を実現する。

課題2 浸水域内の動的人口の推定に基づく被災者人口の高度推定手法の構築と人的被害の予測
課題1による津波浸水シナリオを利用し、浸水域内の動的な人口の推定に基づく被災者数の高度推定手法を構築し、浸水域内の滞留人口と人的被害を推定する。

課題3 建物・施設被害・人的被害予測からの医療需要・医療資源の統計的推計

課題1・2で得られる災害直後の被害情報と医療施設の状況から、傷病者数、必要病床数、搬送者数の医療ニーズを統計的に推計する。

課題4 マルチエージェントシミュレーションによる災害医療・支援活動の予測・更新と医療救護班配備の意志決定モデルの構築

災害医療・支援活動の予測・更新・意志決定を行うマルチエージェントシミュレーションシステムを開発し、医療救護班の適時・適材・適所の配備の条件を明らかにする。

課題5 「広域津波災害医療支援技術」の基盤構築と社会実装に向けた要件定義

広域被害把握技術と災害医療支援のシミュレーションシステムの融合により、分析・意志決定機能を持つ革新的な「災害医療支援システム」を構築し、災害医療現場で活用するための方策を検討する。

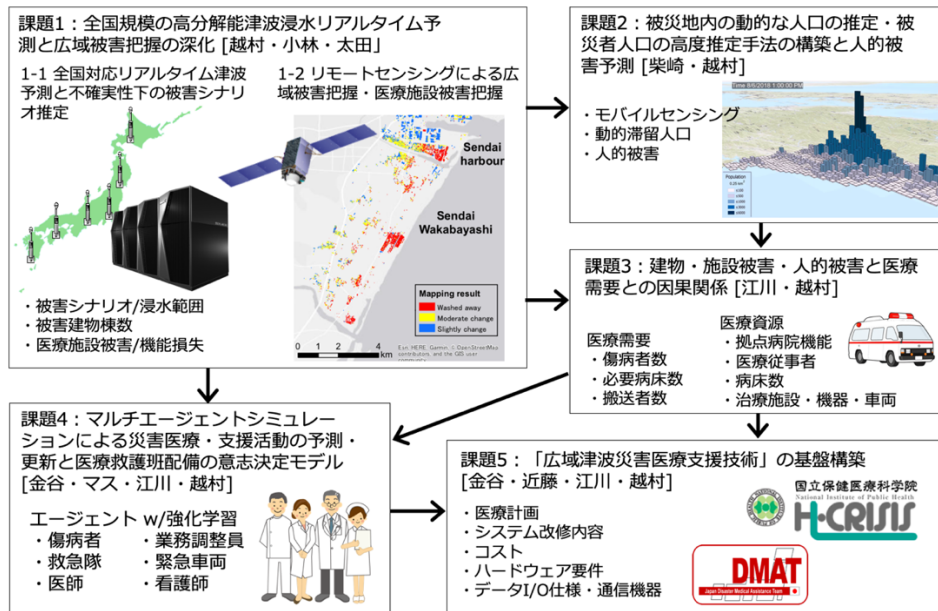


図1 研究の流れと体制

4. 研究成果

課題ごとに得られた成果を説明する。

課題1：「広域被害把握技術」の深化

リアルタイム津波浸水被害予測システムは、複数の計算プラットフォームで最適化を実現した。最新のスーパーコンピュータである SX-Aurora TSUBASA に加え、Intel 製の Xeon Gold (クラウドシステム) と Xeon Phi を用いて性能評価を行い、全国規模の被害推計を行うためのコンピュータ資源量の算出を行った結果、10m 格子を用いて 5 分以内に国内の太平洋全沿岸の被害推計のシミュレーションが可能であることを明らかにした。本システムは内閣府の災害対応システムとして採用され、九州から北海道の太平洋岸全体が予測可能となった (2020 年度末)。また、2019 年 9 月 17 日に高知県で実施された総合防災訓練において本システムが初めて活用され、2020、2021 年度にも訓練で使用された。2021 年度からは本格運用が開始された。すなわち、国だけでなく自治体の基幹となる災害予測システムを構築したことで、研究開始当初の目標を超える成果を達成し、極めて大きな波及効果を得た[1、2、3]。

さらに、津波予測に関しての高度化も達成した。特に GNSS データ (Global Navigation Satellite System/全球測位衛星システム) を用いた津波予測の研究は世界でも競争が激化している。本研究では GEONET データ (GPS による地殻変動モニタリングデータ) から推定される断層モデルの不確実性を明らかにし、マルコフ連鎖モンテカルロ法 (MCMC) を適用した新しい断層モデル推定手法を開発した。MCMC で得られた断層モデルの多数サンプルと浸水予測の関連性を機械学習し、地殻変動を説明する断層モデルのサンプルから最悪の浸水シナリオを抽出する方法を考案することができた。

これらの成果は、GNSS データを活用した津波予報研究の先駆的な研究として世界的にも高い評価を得ており、100 カ国が加盟する Group on Earth Observations (GEO) の委員として越村が就任するなど (2021 年)、次世代の津波予測手法の発展に向けた国際的な活動を推進している[3]。

被害把握については、シミュレーション予測だけでなく、リモートセンシングによる広域被害把握も深化し、多様なセンサ情報 (光学センサ、レーダー画像) の機械学習・深層学習の応用により、病院を含む建物被害を高度に把握できる技術を実現した[4、5、6]。リモートセンシングによる広域被害把握技術に関する研究は、機械学習・AI 研究の発展を背景に、極めて高い学術的な評価を得た[5、6]。

課題2：被災者人口の動的推定

携帯電話から得られる大量の位置情報を解析することで、人々の活動状況、滞留状況、災害時の振る舞いを明らかにした。具体的には、1) 位置データの送信を許諾した人々だけのデータから、実際の人口を推定するための補正法を考案、2) 時系列の位置データから滞在場所、移動状況などの推定をリアルタイムで処理するための手法を開発した。これらの手法の適用として、人流データを活用した緊急車両の需要予測を行えるようになった[7]。

さらに、人流のリアルタイム推定が実現することを想定し、高知市における津波浸水域内人口の動的推定に取り組んだ。図-2 に示すのは、ドコモ・インサイトマーケティングが提供する 1 時間毎の推計人口 (モバイル空間統計) を用いて、高知市内の津波浸水域内人口を推定した結果である。これにより、発生時間に応じた被災者人口の推定に加えて、どの時期・時間帯に被害が大きくなるか、社会側からの最悪シナリオの探索が可能となった (図 2)。

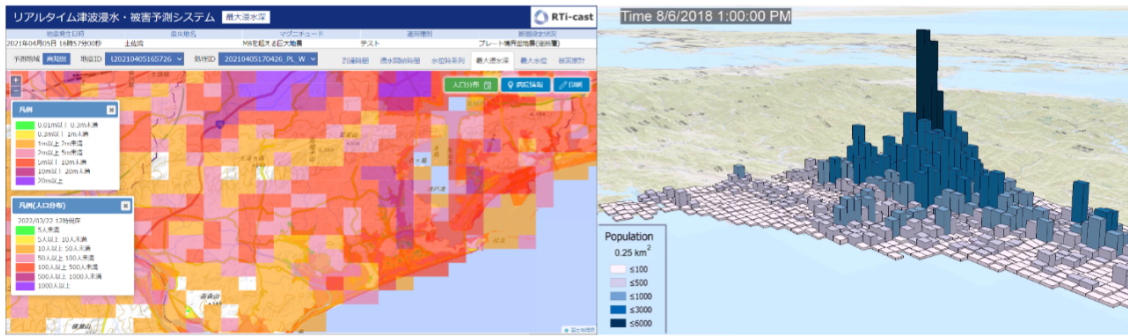


図 2 津波浸水域内人口推定（左：代表者らによる津波浸水被害予測システムでの表示例、右：高知市における浸水域内人口の動的推定結果のマッピング例

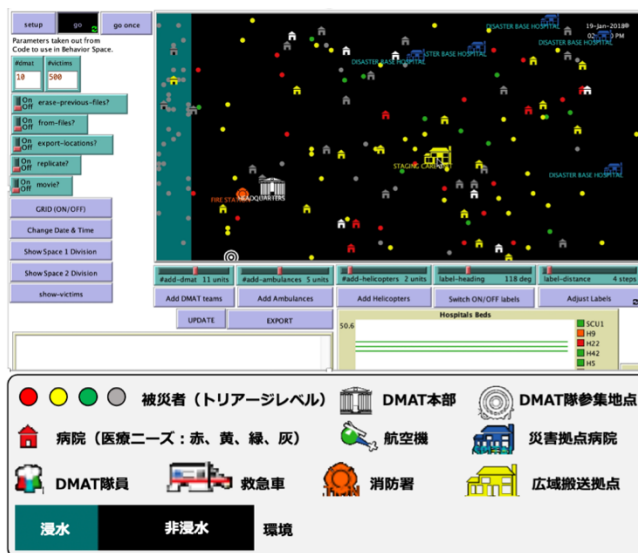
課題 3：医療ニーズ予測

東日本大震災時の匿名化された災害診療記録に基づく医療ニーズに関する疫学研究に取り組み、津波被災地の医療ニーズの経時的変化を明らかにした。人口 1 万 7 千人の南三陸町では、10,460 人が受診し、非感染性疾患(NCD)が 68%を占め、ついで感染症(22%)、メンタルヘルス問題(6%)、外傷(4%)、母子保健問題(0.2%)の順で多く、それぞれ年齢・性別の特徴があった。リアス式海岸でまだら状に津波浸水を受けた地域（気仙沼市）、広範に浸水を受けた平野部（石巻市等）での分析結果をとりまとめ、浸水域内人口、被害予測情報から医療ニーズを推定するモデルを構築する標準的な方法論を確立することができた[8、9]。

課題 4：災害医療活動のマルチエージェントシステム

災害派遣医療チーム(DMAT)が展開する医療活動をマルチエージェントシステムによってモデル化し、自治体における地域防災計画及び地域医療計画との整合性を検証した。

具体的には、災害時の被災地の活動を再現する動的統合シミュレーション環境 DIM2SEA をベースに、マルチエージェントシミュレーションによる災害医療・支援活動の予測・更新と医療救護班配備の意志決定モデルの構築を行い（図-3）、基本モデルとして、搬送計画や避難計画のシミュレーションモデルを、東日本大震災の事例で評価することができた[10]。また、最適化の方法としてエージェントの強化学習を導入し、避難問題で検証したところ、多数の被災者が存在する場合には、それぞれが最短経路で行動するより、経路を分散しながら時には迂回することで最適な避難時間となることを実証することができた[11]。



1. モデル設定

- DMATチームのアサイン
- 病院（医療ニーズ設定）
- 被災者推定・トリアージ
- 広域搬送拠点設定
- DMAT活動拠点設定

2. シミュレーション開始

- DMATチーム参集
- DMAT活動拠点設置
- 緊急車両配備
- 被災者の探索・治療
- 患者の搬送・移動
- 域内搬送・広域搬送

3. 出力

- 受け入れ病床数の経時変化
- 搬送者数の経時変化
- 被災者救護数

4. 評価（政策的示唆）

- DMATの活動計画
- 搬送計画
- 医療資源配置

図-3 災害派遣医療チーム(DMAT)のマルチエージェントシミュレーション

課題 5：広域津波災害医療支援技術の基盤構築

日本 DMAT として大規模地震発生時の医療活動に関する総合的な実動訓練を毎年実施し、DMAT の災害医療活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行った。特に、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた災害医療のあり方について、DMAT の指揮系統、運用の検証、医療ニーズへの対応、搬送調整にかかわる課題、DMAT ロジスティックスの向上、保健医療福祉分野との連携、他分野との連携といった課題を明らかにした[12、13、14、15]。訓練におけ

る DMAT の行動原則の一部は、エージェントシミュレーションに実装されており、訓練での検証を通じて災害医療活動シミュレーションの高度化に資するデータを取得することができた。

以上、課題 1~5 の遂行を通じて、理学・工学・医学の連携により、災害・被害予測の技術を革新的な災害医療支援の技術へと深化するための要素技術、基盤技術を構築することができた。本研究の成果は、学術論文や学会での発表だけでなく、図書の出版等を通じて一般読者にもわかりやすく成果を発信してきた[16-19]。

<引用文献>

1. Ohno K., Y. Ohta, R. Hino, S. Koshimura, A. Musa, T. Abe, H. Kobayashi, Rapid and quantitative uncertainty estimation of coseismic slip distribution for large interplate earthquakes using real-time GNSS data and its application to tsunami inundation prediction, *Earth, Planets Space*, 74:24, 1-18, 2022. doi:10.1186/s40623-022-01586-6
2. Ohno, K., Y. Ohta, S. Kawamoto, S. Abe, R. Hino, S. Koshimura, A. Musa, H. Kobayashi, Real time automatic uncertainty estimation of coseismic single rectangular fault model using GNSS data, *Earth, Planets Space*, 73(127), 1-18, 2021. doi:10.1186/s40623-021-01425-0
3. Koshimura, S., How Modeling and Simulation Can Help Improve Coastal Communities' Preparation, Defense, and Recovery from Disaster: Insights from Japan's Experiences, *US - Japan Relationship Conference Series*, 2020.
4. Nagasawa, R., E. Mas, L. Moya, S. Koshimura, Model-based analysis of multi-UAV path planning for surveying postdisaster building damage, *Scientific Reports volume 11*, Article number: 18588, 2021. doi:10.1038/s41598-021-97804-4
5. Adriano, B., N. Yokoya, J. Xia, H. Miura, W. Liu, M. Matsuoka, S. Koshimura, Learning from multimodal and multitemporal earth observation data for building damage mapping, *ISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing*, 175, 132-143, 2021. doi:10.1016/j.isprsjprs.2021.02.016
6. Okada, G., L. Moya, E. Mas, S. Koshimura, The Potential Role of News Media to Construct a Machine Learning Based Damage Mapping Framework, *Remote Sensing*, 13(7), 1401, 2021. doi:10.3390/rs13071401
7. Wang, Z., T. Xia, R. Jing, X. Liu, K. S. Kim, X. Song, R. Shibasaki, Forecasting ambulance demand with profiled human mobility via heterogeneous multi-graph neural networks, *Proceedings-International Conference on Data Engineering*, 2021, 1751-1762, 2021. doi:10.1109/ICDE51399.2021.00154
8. Egawa, S., Science for Resilience: Healthy community is resilient against disaster, *World Association for Disaster Medicine Inaugural Virtual Forum*, 2021.
9. Egawa, S., Improvement of disaster medical system in Japan after the 2011 Great Eastern Japan Earthquake, *Asian Conference of Emergency Medicine 2021*, 2021.
10. Mas, E., S. Egawa, H. Sasaki, S. Koshimura, Modeling search and rescue, medical disaster team response and transportation of patients in Ishinomaki city after tsunami disaster, *E3S Web of Conferences*, Volume 340, id.05001, 2022. doi:10.1051/e3sconf/202234005001
11. Mas, E., L. Moya, and S. Koshimura, TSUNAMI EVACUATION GUIDANCE USING REINFORCEMENT LEARNING ALGORITHM, *The 17th World Conference on Earthquake Engineering*, 2021
12. 金谷泰宏、機械学習を活用した診療情報の体系的な把握・分析に基づく、疾患との新たな関連性を発見するための研究、*医療情報学*、41、67-68、2021
13. 近藤久禎、赤星昂己、市川学、久保達彦、鈴木教久、若井聡智、三村誠二、阿南英明、災害医療対応の最前線—近年の災害対応からの教訓— *週刊医学のあゆみ* 第 277 巻 8 号、575-614、2021
14. 近藤久禎、災害医療としての感染危機管理:DMAT の対応、*日本危機管理防災学会誌* 26 号、11-20、2021
15. 近藤久禎、感染症対策の変化と進化—コロナがもたらしたもの— *「公衆衛生」*85 巻 11 号、P.1, 2021
16. 越村俊一、マス・エリック、津波の広域被害把握技術の発展と今後、東日本大震災からのスタート—災害を考える 51 のアプローチ—、*災害科学国際研究所編、東北大学出版会、第 13 章、51-54、2021*
17. 江川新一、災害医療の深化、東日本大震災からのスタート—災害を考える 51 のアプローチ—、*災害科学国際研究所編、東北大学出版会、第 35 章、143-146、2021*
18. 金谷泰宏、横田裕行、*災害医療 2020*、*日本医師会雑誌*、73-75、2020
19. 近藤久禎、河寫謙、大規模事故と広域医療対応、*日本危機管理士機構「危機管理士教本」* 第 6 章、2021

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計137件（うち査読付論文 128件 / うち国際共著 66件 / うちオープンアクセス 77件）

1. 著者名 金谷泰宏	4. 巻 41
2. 論文標題 機械学習を活用した診療情報の体系的な把握・分析に基づく、疾患との新たな関連性を発見するための研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 医療情報学	6. 最初と最後の頁 67～68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eto Akiko, Yamamoto Norio, Kanatani Yasuhiro	4. 巻 10
2. 論文標題 Effect of Serial Passage on the Pathogenicity and Immunogenicity of Vaccinia Virus LC16m8 Strain	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biology	6. 最初と最後の頁 1158～1158
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/biology10111158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 近藤久禎	4. 巻 85
2. 論文標題 感染症対策の変化と進化 コロナがもたらしたもの -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 公衆衛生	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤久禎	4. 巻 26
2. 論文標題 災害医療としての感染危機管理：DMATの対応	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本危機管理防災学会誌	6. 最初と最後の頁 11～20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 1. 近藤久禎、赤星昂己、市川学、久保達彦、鈴木教久、若井聡智、三村誠二、阿南英明	4. 巻 277
2. 論文標題 災害医療対応の最前線 - 近年の災害対応からの教訓 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 週刊医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 575 ~ 614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fan Zipei, Yang Chuang, Zhang Zhiwen, Song Xuan, Liu Yinghao, Jiang Renhe, Chen Quanjun, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 8
2. 論文標題 Human Mobility-based Individual-level Epidemic Simulation Platform	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACM Transactions on Spatial Algorithms and Systems	6. 最初と最後の頁 1 ~ 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3491063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jiang Renhe, Cai Zekun, Wang Zhaonan, Yang Chuang, Fan Zipei, Chen Quanjun, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 13
2. 論文標題 Predicting Citywide Crowd Dynamics at Big Events: A Deep Learning System	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACM Transactions on Intelligent Systems and Technology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3472300	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Liu Yinghao, Fan Zipei, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 21
2. 論文標題 FedVoting: A Cross-Silo Boosting Tree Construction Method for Privacy-Preserving Long-Term Human Mobility Prediction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 8282 ~ 8282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/s21248282	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jiang Renhe, Cai Zekun, Wang Zhaonan, Yang Chuang, Fan Zipei, Chen Quanjun, Tsubouchi Kota, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 -
2. 論文標題 DeepCrowd: A Deep Model for Large-Scale Citywide Crowd Density and Flow Prediction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IEEE Transactions on Knowledge and Data Engineering	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/TKDE.2021.3077056	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Moya Luis, Garcia Fernando, Gonzales Carlos, Diaz Miguel, Zavala Carlos, Estrada Miguel, Yamazaki Fumio, Koshimura Shunichi, Mas Erick, Adriano Bruno	4. 巻 22
2. 論文標題 Brief communication: Radar images for monitoring informal urban settlements in vulnerable zones in Lima, Peru	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Natural Hazards and Earth System Sciences	6. 最初と最後の頁 65 ~ 70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/nhess-22-65-2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Martin Teresa Vera San, Gutierrez Leonardo, Palacios Mario, Mas Erick, Bruno Adriano, Koshimura Shunichi	4. 巻 7
2. 論文標題 Tsunami damage estimation in Esmeraldas, Ecuador using fragility functions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 AIMS Geosciences	6. 最初と最後の頁 669 ~ 694
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3934/geosci.2021040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Bai Yanbing, Wu Wenqi, Yang Zhengxin, Yu Jinze, Zhao Bo, Liu Xing, Yang Hanfang, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 13
2. 論文標題 Enhancement of Detecting Permanent Water and Temporary Water in Flood Disasters by Fusing Sentinel-1 and Sentinel-2 Imagery Using Deep Learning Algorithms: Demonstration of Sen1Floods11 Benchmark Datasets	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 2220 ~ 2220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs13112220	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Paez-Ramirez Juan, Lizarazo Juan, Medina Sergio, Rivas Miguel, Luna Patricia, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 630
2. 論文標題 A comparative analysis of empirical and analytical tsunami fragility functions for buildings in Tumaco, Colombia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 012008 ~ 012008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/630/1/012008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Le?n Jorge, Mas Erick, Catal?n Patricio A, Moya Luis, Gubler Alejandra, Koshimura Shunichi, Cienfuegos Rodrigo	4. 巻 630
2. 論文標題 Development of calibrated tsunami evacuation models through real-world collected data: The case study of Coquimbo-La Serena, Chile	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 012005 ~ 012005
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/630/1/012005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maly Elizabeth, Terada Kenjiro, LeVeque Randall J., Kuriyama Naoko, Abramson Daniel B., Nguyen Lan T., Bostrom Ann, Leon Jorge, Motley Michael, Catalan Patricio A., Koshimura Shunichi, et al.	4. 巻 15
2. 論文標題 Advances of International Collaboration on M9 Disaster Science: Scientific Session Report	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 890 ~ 899
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2020.p0890	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakami Sota, Ichimura Tsuyoshi, Fujita Kohei, Hori Takane, Ohta Yusaku	4. 巻 9
2. 論文標題 Sensitivity Analysis for Seafloor Geodetic Constraints on Coseismic Slip and Interseismic Slip-Deficit Distributions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Earth Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/feart.2021.614088	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohta Yusaku, Ohzono Mako	4. 巻 74
2. 論文標題 Potential for crustal deformation monitoring using a dense cell phone carrier Global Navigation Satellite System network	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Earth, Planets and Space	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-022-01585-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu, Kazuhiko, Akito Onodera, Erich Focht, Soya Fujimoto, Yoko Isobe, Shintaro Momose, Masayuki Sato, Hiroaki Kobayashi	4. 巻 8
2. 論文標題 Performance and Power Analysis of a Vector Computing System	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Supercomputing Frontiers and Innovations	6. 最初と最後の頁 75 ~ 94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14529/jsfi210205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yokokawa Mitsuo, Nakai Ayano, Komatsu Kazuhiko, Watanabe Yuta, Masaoka Yasuhisa, Isobe Yoko, Kobayashi Hiroaki	4. 巻 -
2. 論文標題 I/O Performance of the SX-Aurora TSUBASA	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2020 IEEE International Parallel and Distributed Processing of Symposium Workshops	6. 最初と最後の頁 27 ~ 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IPDPSW50202.2020.00014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onodera Akito, Komatsu Kazuhiko, Fujimoto Soya, Isobe Yoko, Sato Masayuki, Kobayashi Hiroaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Optimization of the Himeno Benchmark for SX-Aurora TSUBASA	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Wolf, F., Gao, W. (eds) Benchmarking, Measuring, and Optimizing. Bench 2020	6. 最初と最後の頁 127 ~ 143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-71058-3_8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Abimibayo Adeoya Akindele, Sasaki Hiroyuki, Fuda Mikiko, Okamoto Tomoko, Egawa Shinichi	4. 巻 256
2. 論文標題 Child Nutrition in Disaster: A Scoping Review	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 103 ~ 118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.256.103	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Abimibayo Adeoya Akindele, Olugbemiga Adeleye Adewale, Egawa Shinichi	4. 巻 18
2. 論文標題 Psychological Factors as Predictor of Sport Participation among Japanese and Foreign Students in Sendai, Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sport Psychology in Sports, Exercise and Physical Activity	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5772/intechopen.99244	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang Zhaonan, Xia Tianqi, Jiang Renhe, Liu Xin, Kim Kyoung-Sook, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 -
2. 論文標題 Forecasting Ambulance Demand with Profiled Human Mobility via Heterogeneous Multi-Graph Neural Networks	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings-International Conference on Data Engineering	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ICDE51399.2021.00154	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohno Keitaro, Ohta Yusaku, Hino Ryota, Koshimura Shunichi, Musa Akihiro, Abe Takashi, Kobayashi Hiroaki	4. 巻 74
2. 論文標題 Rapid and quantitative uncertainty estimation of coseismic slip distribution for large interplate earthquakes using real-time GNSS data and its application to tsunami inundation prediction	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Earth, Planets and Space	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-022-01586-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mas Erick, Egawa Shinichi, Sasaki Hiroyuki, Koshimura Shunichi	4. 巻 340
2. 論文標題 Modeling search and rescue, medical disaster team response and transportation of patients in Ishinomaki city after tsunami disaster	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 E3S Web of Conferences	6. 最初と最後の頁 05001 ~ 05001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1051/e3sconf/202234005001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshimura Shunichi, Moya Luis, Mas Erick, Bai Yanbing	4. 巻 10
2. 論文標題 Tsunami Damage Detection with Remote Sensing: A Review	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geosciences	6. 最初と最後の頁 177 ~ 177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/geosciences10050177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Endo Yukio, Halabisky Meghan, Moskal L. Monika, Koshimura Shunichi	4. 巻 12
2. 論文標題 Wetland Surface Water Detection from Multipath SAR Images Using Gaussian Process-Based Temporal Interpolation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 1756 ~ 1756
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs12111756	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Moya Luis, Muhari Abdul, Adriano Bruno, Koshimura Shunichi, Mas Erick, Marval-Perez Luis R., Yokoya Naoto	4. 巻 242
2. 論文標題 Detecting urban changes using phase correlation and l1-based sparse model for early disaster response: A case study of the 2018 Sulawesi Indonesia earthquake-tsunami	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Remote Sensing of Environment	6. 最初と最後の頁 111743 ~ 111743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rse.2020.111743	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mas Erick, Paulik Ryan, Pakoksung Kwanchai, Adriano Bruno, Moya Luis, Suppasri Anawat, Muhari Abdul, Khomarudin Rokhis, Yokoya Naoto, Matsuoka Masashi, Koshimura Shunichi	4. 巻 177
2. 論文標題 Characteristics of Tsunami Fragility Functions Developed Using Different Sources of Damage Data from the 2018 Sulawesi Earthquake and Tsunami	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pure and Applied Geophysics	6. 最初と最後の頁 2437 ~ 2455
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00024-020-02501-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Paez-Ramirez Juan, Lizarazo-Marriaga Juan, Medina Sergio, Estrada Martin, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 62
2. 論文標題 A comparative study of empirical and analytical fragility functions for the assessment of tsunami building damage in Tumaco, Colombia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 362 ~ 372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2020.1726558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Moya Luis, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 12
2. 論文標題 Learning from the 2018 Western Japan Heavy Rains to Detect Floods during the 2019 Hagibis Typhoon	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 2244 ~ 2244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs12142244	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Escobar Ronald Sanchez, Diaz Luis Otero, Guerrero Anlly Melissa, Galindo Milton Puentes, Mas Erick, Koshimura Shunichi, Adriano Bruno, Urra Luisa, Quintero Paola	4. 巻 62
2. 論文標題 Tsunami hazard assessment for the central and southern pacific coast of Colombia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 540 ~ 552
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2020.1818362	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Su Jinhua, Bai Yanbing, Wang Xingrui, Lu Dong, Zhao Bo, Yang Hanfang, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 12
2. 論文標題 Technical Solution Discussion for Key Challenges of Operational Convolutional Neural Network-Based Building-Damage Assessment from Satellite Imagery: Perspective from Benchmark xBD Dataset	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 3808 ~ 3808
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs12223808	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Bai Yanbing, Hu Junjie, Su Jinhua, Liu Xing, Liu Haoyu, He Xianwen, Meng Shengwang, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 12
2. 論文標題 Pyramid Pooling Module-Based Semi-Siamese Network: A Benchmark Model for Assessing Building Damage from xBD Satellite Imagery Datasets	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 4055 ~ 4055
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs12244055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Moya Luis, Geiss Christian, Hashimoto Masakazu, Mas Erick, Koshimura Shunichi, Strunz Gunter	4. 巻 -
2. 論文標題 Disaster Intensity-Based Selection of Training Samples for Remote Sensing Building Damage Classification	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 1 ~ 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/TGRS.2020.3046004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kondo Hisayoshi, Koido Yuichi, Kohayagawa Yoshitaka, Anan Hideaki	4. 巻 15
2. 論文標題 Japan DMAT operations in the Diamond Princess cruise ship: COVID-19 medical operation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 American Journal of Disaster Medicine	6. 最初と最後の頁 207 ~ 218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5055/ajdm.2020.0369	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤久禎	4. 巻 44
2. 論文標題 2019年台風15/19号によるライフラインパニック時の医療支援	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 救急医学	6. 最初と最後の頁 1072 ~ 1078
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤久禎	4. 巻 29
2. 論文標題 ダイヤモンドプリンセス号におけるDMAT活動	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 未病と抗老化	6. 最初と最後の頁 45 ~ 50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤久禎	4. 巻 149
2. 論文標題 災害医療2020 - 大規模イベント、テロ対応を含めて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 314 ~ 318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤久禎	4. 巻 141
2. 論文標題 2019年台風15・19号における災害医療対応	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 消防防災の科学	6. 最初と最後の頁 46 ~ 51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Hiroyuki, Maruya Hiroaki, Abe Yoshiko, Fujita Motoo, Furukawa Hajime, Fuda Mikiko, Kamei Takashi, Yaegashi Nobuo, Tominaga Teiji, Egawa Shinichi	4. 巻 251
2. 論文標題 Scoping Review of Hospital Business Continuity Plans to Validate the Improvement after the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 147 ~ 159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.251.147	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Yayoi, Suda Tomomi, Murakami Aya, Sasaki Hiroyuki, Tsuji Ichiro, Sugawara Yumi, Nishizawa Masafumi, Hatsugai Kazuaki, Egawa Shinichi	4. 巻 251
2. 論文標題 Sleep Disturbance of Evacuees in Minamisanriku Town after Great East Japan Earthquake: Risk Factors and Treatment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 207 ~ 216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.251.207	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Alifia Rahma Rizky, Rahma Fathiya, Hamida Ulfa, Koesoema Allya P., S.Irawan Yoke, Egawa Shinichi	4. 巻 -
2. 論文標題 Tsunami Fighters: Collaborative Multilingual Mobile Game for Earthquake and Tsunami Disaster Preparedness Education	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 2020 IEEE 8th R10 Humanitarian Technology Conference	6. 最初と最後の頁 1 ~ 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/R10-HTC49770.2020.9357038	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hung Kevin K. C. et al.	4. 巻 18
2. 論文標題 Health Workforce Development in Health Emergency and Disaster Risk Management: The Need for Evidence-Based Recommendations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 3382 ~ 3382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18073382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nomura Shuhei, Kayano Ryoma, Egawa Shinichi, Harada Nahoko, Koido Yuichi	4. 巻 18
2. 論文標題 Expected Scopes of Health Emergency and Disaster Risk Management (Health EDRM): Report on the Expert Workshop at the Annual Conference for the Japanese Association for Disaster Medicine 2020	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 4447 ~ 4447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18094447	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinichi Egawa	4. 巻 253
2. 論文標題 Progress of Disaster Medicine during Ten Years after the 2011 Great East Japan Earthquake	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 159 ~ 170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.253.159.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 江川新一、佐々木宏之、丸谷浩明.	4. 巻 69
2. 論文標題 病院におけるBCP・BCMの実際 東日本大震災の経験をふまえて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 共済医報	6. 最初と最後の頁 340 ~ 346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kishitani Takumi, Komatsu Kazuhiko, Sato Masayuki, Musa Akihiro, Kobayashi Hiroaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Importance of Selecting Data Layouts in the Tsunami Simulation Code	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 2020 IEEE International Parallel and Distributed Processing Symposium Workshops	6. 最初と最後の頁 1 ~ 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IPDPSW50202.2020.00140	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 撫佐昭裕, 岸谷拓海, 阿部孝志, 佐藤佳彦, 田野邊睦, 鈴木崇之, 村嶋陽一, 佐藤雅之, 小松一彦, 伊達進, 越村俊一, 小林広明	4. 巻 53
2. 論文標題 リアルタイム津波浸水被害推計シミュレーションの性能評価	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SENAC	6. 最初と最後の頁 10 ~ 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yu Qing, Zhang Haoran, Li Weifeng, Song Xuan, Yang Dongyuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 272
2. 論文標題 Mobile phone GPS data in urban customized bus: Dynamic line design and emission reduction potentials analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 122471 ~ 122471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2020.122471	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yu Qing, Zhang Haoran, Li Weifeng, Sui Yi, Song Xuan, Yang Dongyuan, Shibasaki Ryosuke, Jiang Wenxiao	4. 巻 254
2. 論文標題 Mobile phone data in urban bicycle-sharing: Market-oriented sub-area division and spatial analysis on emission reduction potentials	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 119974 ~ 119974
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2020.119974	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Haoran, Yan Jinyue, Yu Qing, Obersteiner Michael, Li Wenjing, Chen Jinyu, Zhang Qiong, Jiang Mingkun, Wallin Fredrik, Song Xuan, Wu Jiang, Wang Xin, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 283
2. 論文標題 1.6 Million transactions replicate distributed PV market slowdown by COVID-19 lockdown	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 116341 ~ 116341
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.116341	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jiang Wenxiao, Zhang Haoran, Long Yin, Chen Jinyu, Sui Yi, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke, Yu Qing	4. 巻 279
2. 論文標題 GPS data in urban online ride-hailing: The technical potential analysis of demand prediction model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 123706 ~ 123706
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2020.123706	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Haoran, Chen Jinyu, Li Wenjing, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 269
2. 論文標題 Mobile phone GPS data in urban ride-sharing: An assessment method for emission reduction potential	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 115038 ~ 115038
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115038	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Jinyu, Li Wenjing, Zhang Haoran, Jiang Wenxiao, Li Weifeng, Sui Yi, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 270
2. 論文標題 Mining urban sustainable performance: GPS data-based spatio-temporal analysis on on-road braking emission	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 122489 ~ 122489
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2020.122489	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Haoran, Chen Jinyu, Yan Jie, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke, Yan Jinyue	4. 巻 1
2. 論文標題 Urban power load profiles under ageing transition integrated with future EVs charging	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Advances in Applied Energy	6. 最初と最後の頁 100007 ~ 100007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.adapen.2020.100007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jiang Renhe, Chen Quanjun, Cai Zekun, Fan Zipei, Song Xuan, Tsubouchi Kota, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 -
2. 論文標題 Will you go where you search? A deep learning framework for estimating user search-and-go behavior	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurocomputing	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neucom.2020.10.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Jinyu, Li Wenjing, Zhang Haoran, Cai Zekun, Sui Yi, Long Yin, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 287
2. 論文標題 GPS data in urban online ride-hailing: A simulation data method to evaluate impact of user scale on emission performance of system	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cleaner Production	6. 最初と最後の頁 125567 ~ 125567
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jclepro.2020.125567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jiang Renhe, Song Xuan, Fan Zipei, Xia Tianqi, Wang Zhaonan, Chen Quanjun, Cai Zekun, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 2
2. 論文標題 Transfer Urban Human Mobility via POI Embedding over Multiple Cities	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ACM/IMS Transactions on Data Science	6. 最初と最後の頁 1 ~ 26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3416914	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Li Peiran, Zhang Haoran, Wang Xin, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 209
2. 論文標題 A spatial finer electric load estimation method based on night-light satellite image	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy	6. 最初と最後の頁 118475 ~ 118475
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.energy.2020.118475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fan Zipei, Song Xuan, Liu Yinghao, Zhang Zhiwen, Yang Chuang, Chen Qunjun, Jiang Renhe, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 12
2. 論文標題 Human mobility based individual-level epidemic simulation platform	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SIGSPATIAL Special	6. 最初と最後の頁 34 ~ 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3404820.3404826	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Qunjun, Jiang Renhe, Yang Chuang, Cai Zekun, Fan Zipei, Tsubouchi Kota, Shibasaki Ryosuke, Song Xuan	4. 巻 -
2. 論文標題 DualSIN: Dual Sequential Interaction Network for Human Intentional Mobility Prediction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the 28th International Conference on Advances in Geographic Information Systems	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3397536.3422221	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fan Zipei, Song Xuan, Chen Qunjun, Jiang Renhe, Shibasaki Ryosuke, Tsubouchi Kota	4. 巻 2
2. 論文標題 Trajectory fingerprint: one-shot human trajectory identification using Siamese network	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 CCF Transactions on Pervasive Computing and Interaction	6. 最初と最後の頁 113 ~ 125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42486-020-00034-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Xia Tianqi, Jatowt Adam, Wang Zhaonan, Si Ruochen, Zhang Haoran, Liu Xin, Shibasaki Ryosuke, Song Xuan, Kim Kyoung-sook	4. 巻 12473
2. 論文標題 CoolPath: An Application for Recommending Pedestrian Routes with Reduced Heatstroke Risk	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Lecture Notes in Computer Science	6. 最初と最後の頁 14 ~ 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-60952-8_2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fan Zipei, Song Xuan, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 -
2. 論文標題 Big Data-Driven Citywide Human Mobility Modeling for Emergency Management	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Big Data in Emergency Management: Exploitation Techniques for Social and Mobile Data	6. 最初と最後の頁 109 ~ 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-48099-8_6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sui Yi, Zhang Haoran, Shang Wenlong, Sun Rencheng, Wang Changying, Ji Jun, Song Xuan, Shao Fengjing	4. 巻 280
2. 論文標題 Mining urban sustainable performance: Spatio-temporal emission potential changes of urban transit buses in post-COVID-19 future	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Energy	6. 最初と最後の頁 115966 ~ 115966
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.apenergy.2020.115966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kubota Tatsuya, Saito Tatsuhiko, Tsushima Hiroaki, Hino Ryota, Ohta Yusaku, Suzuki Syuichi, Inazu Daisuke	4. 巻 48
2. 論文標題 Extracting Near Field Seismograms From Ocean Bottom Pressure Gauge Inside the Focal Area: Application to the 2011 Mw 9.1 Tohoku Oki Earthquake	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL091664	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kagawa Takao, Ohta Yusaku, Graduate School of Engineering, Tottori University 4-101 Koyamacho-Minami, Tottori, Tottori 680-8552, Japan, Graduate School of Science, Tohoku University, Miyagi, Japan	4. 巻 15
2. 論文標題 Prior and Real-Time Estimations of Ground Motions, Tsunamis, and Other Geodynamic Hazards	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 144 ~ 151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2020.p0144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 夏目 恵子、市川 学、奥田 博子、吉田 宏、金谷 泰宏	4. 巻 68
2. 論文標題 シミュレーション技術を用いた大規模震災図上演習の取り組みと 地域における防災対策の向上	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 保健医療科学	6. 最初と最後の頁 250 ~ 258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20683/jniph.68.3_250	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eto Akiko, Fujita Masanori, Nishiyama Yasumasa, Saito Tomoya, Molina Douglas M., Morikawa Shigeru, Saijo Masayuki, Shinmura Yasuhiko, Kanatani Yasuhiro	4. 巻 37
2. 論文標題 Profiling of the antibody response to attenuated LC16m8 smallpox vaccine using protein array analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Vaccine	6. 最初と最後の頁 6588 ~ 6593
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vaccine.2019.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seto Moe, Nemoto Harumi, Kobayashi Natsuko, Kikuchi Saya, Honda Nami, Kim Yoshiharu, Kelman Ilan, Tomita Hiroaki	4. 巻 19
2. 論文標題 Post-disaster mental health and psychosocial support in the areas affected by the Great East Japan Earthquake: a qualitative study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-019-2243-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suda Tomomi, Murakami Aya, Nakamura Yayoi, Sasaki Hiroyuki, Tsuji Ichiro, Sugawara Yumi, Hatsugai Kazuaki, Nishizawa Masafumi, Egawa Shinichi	4. 巻 248
2. 論文標題 Medical Needs in Minamisanriku Town after the Great East Japan Earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 73 ~ 86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.248.73	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kondo Hisayoshi, Koido Yuichi, Kawashima Yuzuru, Kohayagawa Yoshitaka, Misaki Miho, Takahashi Ayako, Kondo Yuji, Chishima Kayako, Toyokuni Yoshiki	4. 巻 34
2. 論文標題 Consideration of Medical and Public Health Coordination - Experience from the 2016 Kumamoto, Japan Earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Prehospital and Disaster Medicine	6. 最初と最後の頁 149 ~ 154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1049023X19000177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shi Xiaodan, Shao Xiaowei, Guo Zhiling, Wu Guangming, Zhang Haoran, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 19
2. 論文標題 Pedestrian Trajectory Prediction in Extremely Crowded Scenarios	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 1223 ~ 1223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/s19051223	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Quanshi, Song Xuan, Yang Yu, Ma Haotian, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 178
2. 論文標題 Visual graph mining for graph matching	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Computer Vision and Image Understanding	6. 最初と最後の頁 16 ~ 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cviu.2018.11.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Xia Tianqi, Song Xuan, Zhang Haoran, Song Xiaoya, Kanasugi Hiroshi, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 56
2. 論文標題 Measuring spatio-temporal accessibility to emergency medical services through big GPS data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Health & Place	6. 最初と最後の頁 53 ~ 62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.healthplace.2019.01.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jiang Renhe, Song Xuan, Huang Dou, Song Xiaoya, Xia Tianqi, Cai Zekun, Wang Zhaonan, Kim Kyoung-Sook, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 -
2. 論文標題 Deep Urban Event : A System for Predicting Citywide Crowd Dynamics at Big Events	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the 25th ACM SIGKDD International Conference on Knowledge Discovery & Data Mining	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3292500.3330654	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fan Zipei, Chen Quanjun, Jiang Renhe, Shibasaki Ryosuke, Song Xuan, Tsubouchi Kota	4. 巻 -
2. 論文標題 Deep Multiple Instance Learning for Human Trajectory Identification	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the 27th ACM SIGSPATIAL International Conference on Advances in Geographic Information Systems	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3347146.3359342	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fan Zipei, Song Xuan, Jiang Renhe, Chen Quanjun, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 3
2. 論文標題 Decentralized Attention-based Personalized Human Mobility Prediction	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the ACM on Interactive, Mobile, Wearable and Ubiquitous Technologies	6. 最初と最後の頁 1~26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3369830	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Haoran, Song Xuan, Song Xiaoya, Huang Dou, Xu Ning, Shibasaki Ryosuke, Liang Yongtu	4. 巻 14
2. 論文標題 Ex-ante online risk assessment for building emergency evacuation through multimedia data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0215149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Huang Dou, Song Xuan, Fan Zipei, Jiang Renhe, Shibasaki Ryosuke, Zhang Yu, Wang Haizhong, Kato Yugo	4. 巻 -
2. 論文標題 A Variational Autoencoder Based Generative Model of Urban Human Mobility	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IEEE Conference on Multimedia Information Processing and Retrieval	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/MIPR.2019.00086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Imano Misae, Kido Motoyuki, Honsho Chie, Ohta Yusaku, Takahashi Narumi, Fukuda Tatsuya, Ochi Hiroshi, Hino Ryota	4. 巻 6
2. 論文標題 Assessment of directional accuracy of GNSS-Acoustic measurement using a slackly moored buoy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Progress in Earth and Planetary Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40645-019-0302-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Muto J., Moore J. D. P., Barbot S., Iinuma T., Ohta Y., Iwamori H.	4. 巻 5
2. 論文標題 Coupled afterslip and transient mantle flow after the 2011 Tohoku earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.aaw1164	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Moya Luis, Endo Yukio, Okada Genki, Koshimura Shunichi, Mas Erick	4. 巻 11
2. 論文標題 Drawback in the Change Detection Approach: False Detection during the 2018 Western Japan Floods	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 2320 ~ 2320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs11192320	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tanaka Yusuke, Ohta Yusaku, Miyazaki Shin'ichi	4. 巻 46
2. 論文標題 Real Time Coseismic Slip Estimation via the GNSS Carrier Phase to Fault Slip Approach: A Case Study of the 2016 Kumamoto Earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	6. 最初と最後の頁 1367 ~ 1374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018GL080741	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Takuya, Abe Takashi, Koshimura Shunichi, Musa Akihiro, Murashima Yoichi, Kobayashi Hiroaki	4. 巻 14
2. 論文標題 Development and Validation of a Tsunami Numerical Model with the Polygonally Nested Grid System and its MPI-Parallelization for Real-Time Tsunami Inundation Forecast on a Regional Scale	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 416-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Musa Akihiro, Abe Takashi, Kishitani Takumi, Inoue Takuya, Sato Masayuki, Komatsu Kazuhiko, Murashima Yoichi, Koshimura Shunichi, Kobayashi Hiroaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Performance Evaluation of Tsunami Inundation Simulation on SX-Aurora TSUBASA	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of International Conference on Computational Science	6. 最初と最後の頁 363 ~ 376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-22741-8_26	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Moya Luis, Zakeri Homa, Yamazaki Fumio, Liu Wen, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 149
2. 論文標題 3D gray level co-occurrence matrix and its application to identifying collapsed buildings	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 14 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isprsjprs.2019.01.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Moya Luis, Mas Erick, Yamazaki Fumio, Liu Wen, Koshimura Shunichi	4. 巻 -
2. 論文標題 Statistical Analysis of Japan Wood Frame Building Earthquake Debris Extent and Its Use in Road Networks in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Earthquake Spectra	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/8755293019878183	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 江川新一, 越村俊一	4. 巻 35
2. 論文標題 津波の広域被害把握技術の進化と災害医療支援システムの革新にむけて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BIO Clinica	6. 最初と最後の頁 81-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshimura Shunichi	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Tsunami	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Ocean Sciences	6. 最初と最後の頁 692 ~ 701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-409548-9.11568-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Moya Luis, Zakeri Homa, Yamazaki Fumio, Liu Wen, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 149
2. 論文標題 3D gray level co-occurrence matrix and its application to identifying collapsed buildings	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 14 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isprsjprs.2019.01.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takuya Inoue, Takashi Abe, Shunichi Koshimura, Akihiro Musa, Yoichi Murashima, and Hiroaki Kobayashi	4. 巻 14
2. 論文標題 Development and Validation of a Tsunami Numerical Model with the Polygonally Nested Grid System and its MPI-Parallelization for Real-Time Tsunami Inundation Forecast on a Regional Scale	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 416 ~ 434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p0416	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yusaku Ohta, Takuya Inoue, Shunichi Koshimura, Satoshi Kawamoto, and Ryota Hino	4. 巻 13
2. 論文標題 Role of Real-Time GNSS in Near-Field Tsunami Forecasting	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 453 ~ 459
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2018.p0453	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Kawamoto, Naofumi Takamatsu, Satoshi Abe, Kohei Miyagawa, Yusaku Ohta, Masaru Todoriki, and Takuya Nishimura	4. 巻 13
2. 論文標題 Real-Time GNSS Analysis System REGARD: An Overview and Recent Results	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 440 ~ 452
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2018.p0440	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Yusuke, Ohta Yusaku, Miyazaki Shin'ichi	4. 巻 46
2. 論文標題 Real-Time Coseismic Slip Estimation via the GNSS Carrier Phase to Fault Slip Approach: A Case Study of the 2016 Kumamoto Earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	6. 最初と最後の頁 1367 ~ 1374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018GL080741	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bai Yanbing, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 10
2. 論文標題 Towards Operational Satellite-Based Damage-Mapping Using U-Net Convolutional Network: A Case Study of 2011 Tohoku Earthquake-Tsunami	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 1626 ~ 1626
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs10101626	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moya Luis, Mas Erick, Adriano Bruno, Koshimura Shunichi, Yamazaki Fumio, Liu Wen	4. 巻 31
2. 論文標題 An integrated method to extract collapsed buildings from satellite imagery, hazard distribution and fragility curves	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Disaster Risk Reduction	6. 最初と最後の頁 1374 ~ 1384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijdrr.2018.03.034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Erick Mas, Daniel Felsenstein, Luis Moya, A. Yair Grinberger, Rubel Das, and Shunichi Koshimura	4. 巻 13
2. 論文標題 Dynamic Integrated Model for Disaster Management and Socioeconomic Analysis (DIM2SEA)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 1257 ~ 1271
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2018.p1257	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinichi Egawa, Yasuhito Jibiki, Daisuke Sasaki, Yuichi Ono, Yayoi Nakamura, Tomomi Suda, and Hiroyuki Sasaki	4. 巻 13
2. 論文標題 The Correlation Between Life Expectancy and Disaster Risk	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 1049 ~ 1061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2018.p1049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大野 圭太郎、太田 雄策	4. 巻 64
2. 論文標題 MCMCを用いたリアルタイムGNSSデータによる単一矩形断層推定の不確実性定量評価の試み 2011年東北地方太平洋沖地震への適用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 測地学会誌	6. 最初と最後の頁 39～50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11366/sokuchi.64.39	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiko Eto, Yasuhiro Kanatani	4. 巻 5
2. 論文標題 Countering Bioterrorism: Current Status and Challenges-A Focus on Pharmaceutical Products and Vaccines-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ADC Letter for Infectious Disease Control	6. 最初と最後の頁 50～52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20814/adc.5.2_50	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金谷泰宏, 千島佳也子	4. 巻 48
2. 論文標題 災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)教育研修について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 公衆衛生情報	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金谷泰宏, 江藤亜紀子	4. 巻 10
2. 論文標題 人為的災害で必要とされる分析技術	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ぶんせき	6. 最初と最後の頁 416-419
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金谷泰宏	4. 巻 72
2. 論文標題 国際的なパンデミック対策と我が国の健康危機管理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立病院学会誌 医療	6. 最初と最後の頁 450-453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金谷泰宏, 奥田博子	4. 巻 61
2. 論文標題 災害時の公衆衛生対策の重要性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 保健の科学	6. 最初と最後の頁 153-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金谷泰宏, 奥田博子	4. 巻 74
2. 論文標題 自然災害に関する制度上の変化 受援自治体の保健師に求められるもの	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 保健師ジャーナル	6. 最初と最後の頁 1006-1011
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyazawa Satoshi, Song Xuan, Xia Tianqi, Shibasaki Ryosuke, Kaneda Hodaka	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Integrating GPS trajectory and topics from Twitter stream for human mobility estimation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers of Computer Science	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11704-017-6464-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Huang Dou, Song Xuan, Fan Zipei, Jiang Renhe, Shibasaki Ryosuke, Zhang Yu, Wang Haizhong, Kato Yugo	4. 巻 N/A
2. 論文標題 A Variational Autoencoder Based Generative Model of Urban Human Mobility	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019 IEEE Conference on Multimedia Information Processing and Retrieval (MIPR)	6. 最初と最後の頁 425-430
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/MIPR.2019.00086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Xia Tianqi, Song Xuan, Fan Zipei, Kanasugi Hiroshi, Chen QuanJun, Jiang Renhe, Shibasaki Ryosuke	4. 巻 N/A
2. 論文標題 DeepRailway: A Deep Learning System for Forecasting Railway Traffic	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2019 IEEE Conference on Multimedia Information Processing and Retrieval (MIPR)	6. 最初と最後の頁 51-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/MIPR.2018.00017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fan Zipei, Song Xuan, Xia Tianqi, Jiang Renhe, Shibasaki Ryosuke, Sakuramachi Ritsu	4. 巻 2
2. 論文標題 Online Deep Ensemble Learning for Predicting Citywide Human Mobility	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the ACM on Interactive, Mobile, Wearable and Ubiquitous Technologies	6. 最初と最後の頁 1~21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3264915	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang Haoran, Song Xuan, Song Xiaoya, Huang Dou, Xu Ning, Shibasaki Ryosuke, Liang Yongtu	4. 巻 14
2. 論文標題 Ex-ante online risk assessment for building emergency evacuation through multimedia data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0215149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 金谷泰宏, 市川学	4. 巻 N/A
2. 論文標題 超スマート社会で医療ニーズに応え続けるためには何が必要か-IoT, AIを活用した災害医療の研究・開発を主に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊新医療	6. 最初と最後の頁 18 - 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Motomura Tomokazu, Hirabayashi Atsushi, Matsumoto Hisashi, Yamauchi Nobutaka, Nakamura Mitsunobu, Machida Hiroshi, Fujizuka Kenji, Otsuka Naomi, Satoh Tomoko, Anan Hideaki, Kondo Hisayoshi, Koido Yuichi	4. 巻 85
2. 論文標題 Aeromedical Transport Operations Using Helicopters during the 2016 Kumamoto Earthquake in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Nippon Medical School	6. 最初と最後の頁 124 ~ 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1272/jnms.2018_85-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小井土雄一, 近藤久禎, 市原正行	4. 巻 264
2. 論文標題 東日本大震災以降の新しい災害医療体制ー平成28年熊本地震でさらに何を学んだか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 341 - 349
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kondo Hisayoshi, Koido Yuichi, Kawashima Yuzuru, Kohayagawa Yoshitaka, Misaki Miho, Takahashi Ayako, Kondo Yuji, Chishima Kayako, Toyokuni Yoshiki	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Consideration of Medical and Public Health Coordination - Experience from the 2016 Kumamoto, Japan Earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Prehospital and Disaster Medicine	6. 最初と最後の頁 1 ~ 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1049023X19000177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Adriano Bruno、Hayashi Satomi、Koshimura Shunichi	4. 巻 8
2. 論文標題 Analysis of Spatio-Temporal Tsunami Source Models for Reproducing Tsunami Inundation Features	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Geosciences	6. 最初と最後の頁 3~3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/geosciences8010003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bai Yanbing、Gao Chang、Singh Sameer、Koch Magaly、Adriano Bruno、Mas Erick、Koshimura Shunichi	4. 巻 15
2. 論文標題 A Framework of Rapid Regional Tsunami Damage Recognition From Post-event TerraSAR-X Imagery Using Deep Neural Networks	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IEEE Geoscience and Remote Sensing Letters	6. 最初と最後の頁 43~47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/LGRS.2017.2772349	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Moya Luis、Marval Perez Luis、Mas Erick、Adriano Bruno、Koshimura Shunichi、Yamazaki Fumio	4. 巻 10
2. 論文標題 Novel Unsupervised Classification of Collapsed Buildings Using Satellite Imagery, Hazard Scenarios and Fragility Functions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 296~296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs10020296	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Musa Akihiro、Abe Takashi、Inoue Takuya、Hokari Hiroaki、Murashima Yoichi、Kido Yoshiyuki、Date Susumu、Shimojo Shinji、Koshimura Shunichi、Kobayashi Hiroaki	4. 巻 13
2. 論文標題 A Real-Time Tsunami Inundation Forecast System Using Vector Supercomputer SX-ACE	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Disaster Research	6. 最初と最後の頁 234~244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2018.p0234	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 INOUE Takuya, ABE Takashi, KOSHIMURA Shunichi, MUSA Akihiro, MURASHIMA Yoichi, KOBAYASHI Hiroaki	4. 巻 73
2. 論文標題 A STUDY ON APPLICABILITY OF A TSUNAMI INUNDATION MODEL WITH THE POLYGONALLY NESTED GRID SYSTEM AND ITS MPI-PARALLELIZATION TO NATION-WIDE TSUNAMI FORECAST AT MULTIPLE GRID RESOLUTIONS	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)	6. 最初と最後の頁 I_319 ~ I_324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.73.I_319	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Anan Hideaki, Kondo Hisayoshi, Akasaka Osamu, Oshiro Kenichi, Nakamura Mitsunobu, Kiyozumi Tetsuro, Yamada Norihiko, Homma Masato, Morino Kazuma, Nakayama Shinichi, Otomo Yasuhiro, Koido Yuichi	4. 巻 4
2. 論文標題 Investigation of Japan Disaster Medical Assistance Team response guidelines assuming catastrophic damage from a Nankai Trough earthquake	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acute Medicine & Surgery	6. 最初と最後の頁 300 ~ 305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ams2.280	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamanouchi Satoshi, Sasaki Hiroyuki, Kondo Hisayoshi, Mase Tomohiko, Otomo Yasuhiro, Koido Yuichi, Kushimoto Shigeki	4. 巻 32
2. 論文標題 Survey of Preventable Disaster Deaths at Medical Institutions in Areas Affected by the Great East Japan Earthquake: Retrospective Survey of Medical Institutions in Miyagi Prefecture	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Prehospital and Disaster Medicine	6. 最初と最後の頁 515 ~ 522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1049023X17006501	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami Aya, Sasaki Hiroyuki, Pascapurnama Dysshelly Nurkartika, Egawa Shinichi	4. 巻 12
2. 論文標題 Noncommunicable Diseases After the Great East Japan Earthquake: Systematic Review, 2011?2016	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Disaster Medicine and Public Health Preparedness	6. 最初と最後の頁 396 ~ 407
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dmp.2017.63	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Egawa Shinichi, Suda Tomomi, Jones-Konneh Tracey Elizabeth Claire, Murakami Aya, Sasaki Hiroyuki	4. 巻 243
2. 論文標題 Nation-Wide Implementation of Disaster Medical Coordinators in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 1~9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.243.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jones-Konneh Tracey Elizabeth Claire, Murakami Aya, Sasaki Hiroyuki, Egawa Shinichi	4. 巻 243
2. 論文標題 Intensive Education of Health Care Workers Improves the Outcome of Ebola Virus Disease: Lessons Learned from the 2014 Outbreak in Sierra Leone	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Tohoku Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 101~105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1620/tjem.243.101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Pascapurnama Dyshelly Nurkartika, Murakami Aya, Chagan-Yasutan Haorile, Hattori Toshio, Sasaki Hiroyuki, Egawa Shinichi	4. 巻 29
2. 論文標題 Integrated health education in disaster risk reduction: Lesson learned from disease outbreak following natural disasters in Indonesia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Disaster Risk Reduction	6. 最初と最後の頁 94~102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijdr.2017.07.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Kentaro, Fukuchi Takahiko, Hirai Midori, Yoshimura Kenichi, Kanatani Yasuhiro	4. 巻 96
2. 論文標題 Prevalence of inappropriate antibiotic prescriptions after the great east Japan earthquake, 2011	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e6625~e6625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.0000000000006625	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ochi Sae, Kato Shigeaki, Kobayashi Ken-ichi, Kanatani Yasuhiro	4. 巻 12
2. 論文標題 The Great East Japan Earthquake: Analyses of Disaster Impacts on Health Care Clinics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Disaster Medicine and Public Health Preparedness	6. 最初と最後の頁 291 ~ 295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/dmp.2017.82	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chang Shuang, Ichikawa Manabu, Deguchi Hiroshi, Kanatani Yasuhiro	4. 巻 21
2. 論文標題 Optimizing the Arrangement of Post-Disaster Rescue Activities: An Agent-Based Simulation Approach	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	6. 最初と最後の頁 1202 ~ 1210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jaciii.2017.p1202	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 CHANG Shuang, ICHIKAWA Manabu, DEGUCHI Hiroshi, KANATANI Yasuhiro	4. 巻 10
2. 論文標題 A General Framework of Resource Allocation Optimization and Dynamic Scheduling	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration	6. 最初と最後の頁 77 ~ 84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.9746/jcmsi.10.77	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 市川 学、石峯 康浩、近藤 祐史、出口 弘、金谷 泰宏	4. 巻 12
2. 論文標題 災害時における保健医療支援活動プログラムとマネジメント	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際P2M学会誌	6. 最初と最後の頁 21 ~ 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20702/iappmjour.12.1_21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 越村俊一	4. 巻 33
2. 論文標題 リモートセンシングによる津波の広域被害把握	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本地震工学会誌	6. 最初と最後の頁 26 ~ 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohno Keitaro, Ohta Yusaku, Kawamoto Satoshi, Abe Satoshi, Hino Ryota, Koshimura Shunichi, Musa Akihiro, Kobayashi Hiroaki	4. 巻 73
2. 論文標題 Real-time automatic uncertainty estimation of coseismic single rectangular fault model using GNSS data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Earth, Planets and Space	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-021-01425-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagasawa Ryosuke, Mas Erick, Moya Luis, Koshimura Shunichi	4. 巻 11
2. 論文標題 Model-based analysis of multi-UAV path planning for surveying postdisaster building damage	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-97804-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Adriano Bruno, Yokoya Naoto, Xia Junshi, Miura Hiroyuki, Liu Wen, Matsuoka Masashi, Koshimura Shunichi	4. 巻 175
2. 論文標題 Learning from multimodal and multitemporal earth observation data for building damage mapping	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 132 ~ 143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isprsjprs.2021.02.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada Genki, Moya Luis, Mas Erick, Koshimura Shunichi	4. 巻 13
2. 論文標題 The Potential Role of News Media to Construct a Machine Learning Based Damage Mapping Framework	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 1401 ~ 1401
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs13071401	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

[学会発表] 計101件 (うち招待講演 47件 / うち国際学会 60件)

1. 発表者名 Shinichi Egawa
2. 発表標題 High-Risk Areas of Climate Change and Capacity Building
3. 学会等名 Society of Disaster Medicine and Public Health (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yusaku Ohta
2. 発表標題 Application of GNSS for real-time prediction of geohazards and its transformation to disaster information
3. 学会等名 Geospatial Capacity Development Conference on GNSS applications and DRR (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 太田雄策
2. 発表標題 民間GNSS観測網を用いた地殻変動モニタリングの可能性
3. 学会等名 日本測地学会第136回講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 The New Era of Hybrid-Computing: Vector-Scalar to Vector-Digital Annealing, to Vector-Quantum Annealing
3. 学会等名 Russian Supercomputing Days (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Advances of real-time tsunami inundation and damage forecast - present and future
3. 学会等名 17th World Conference of Earthquake Engineering (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Lessons from the 2011 Great East Japan Earthquake Tsunami disaster and future outlook towards tsunami-resilient society
3. 学会等名 The 30th International Tsunami Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Real-time Tsunami Inundation Forecast in Japan - Present and Future
3. 学会等名 Japan Geoscience Union Meeting 2021
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 How Modeling and Simulation Can Help Improve Coastal Communities' Preparation, Defense, and Recovery from Disaster: Insights from Japan's Experiences
3. 学会等名 US - Japan Relationship Conference Series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shinichi Egawa
2. 発表標題 Improvement of disaster medical system in Japan after the 2011 Great Eastern Japan Earthquake
3. 学会等名 Asian Conference of Emergency Medicine 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinichi Egawa
2. 発表標題 Science for Resilience: Healthy community is resilient against disaster
3. 学会等名 World Association for Disaster Medicine Inaugural Virtual Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Erick Mas
2. 発表標題 Developing tsunami disaster mitigation technologies for real- and quasi-real-time response
3. 学会等名 The International Conference on Disaster Mitigation and Management 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Erick Mas
2. 発表標題 Post disaster building damage detection with remote sensing and its use for future damage estimation
3. 学会等名 6th Geomatics International Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinichi Egawa
2. 発表標題 Doctoral Education for Disaster Science in Tohoku University
3. 学会等名 13th Aceh International Workshop and Expo on Sustainable Tsunami Disaster Recovery (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Erick Mas
2. 発表標題 Modeling search and rescue, medical disaster team response and transportation of patients in Ishinomaki city after tsunami disaster
3. 学会等名 13th Aceh International Workshop and Expo on Sustainable Tsunami Disaster Recovery (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Erick Mas
2. 発表標題 Optimization of tsunami evacuation with reinforcement learning algorithm
3. 学会等名 The 30th International Tsunami Symposium (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Erick Mas
2. 発表標題 Tsunami evacuation guidance using Reinforcement Learning Algorithm
3. 学会等名 17th World Conference of Earthquake Engineering (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金谷泰宏
2. 発表標題 臨床調査個人票の活用について
3. 学会等名 日本神経学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症に対する災害医療対応
3. 学会等名 第27回日本災害医学会総会・学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 ダイヤモンドプリンセス号の真実
3. 学会等名 第27回日本災害医学会総会・学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 攻める新型コロナウイルス対応：医療崩壊と災害医療
3. 学会等名 第27回日本災害医学会総会・学術集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 COVID-19に対する災害対応
3. 学会等名 第75回国立病院総合医学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症に対する災害医療対応
3. 学会等名 第25回日本救急医学会九州地方会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症に対する災害医療対応
3. 学会等名 第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 災害医療と新型コロナウイルス
3. 学会等名 第26回日本災害医学会総会・学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 D M A Tの活動とシミュレーション教育の意義
3. 学会等名 第16回シミュレーション学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 大規模災害における多職種連携
3. 学会等名 第36回日本診療放射線技師学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 災害と統合医療 COVID 19と統合医療
3. 学会等名 第24回日本統合医療学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 災害医療としての感染危機管理：DMATの対応
3. 学会等名 日本危機管理防災学会2020年度研究大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号におけるDMAT活動～COVID19の蔓延を防ぐために如何に戦ったか～
3. 学会等名 第23回臨床救急医学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 江川新一
2. 発表標題 東日本大震災から始まる災害レジリエンス学際研究
3. 学会等名 第26回日本災害医学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinichi Egawa
2. 発表標題 Healthy Society is Resilient against Disaster
3. 学会等名 Berlin Science Week（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名	Rahma Rizky Alifia; Fathiya Rahma; Ulfa Hamida; Allya P. Koesoema; Yoke S.Irawan; Shinichi Egawa
2. 発表標題	Tsunami Fighters: Collaborative Multilingual Mobile Game for Earthquake and Tsunami Disaster Preparedness Education
3. 学会等名	IEEE HTC 2020 (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Takumi Kishitani, Kazuhiko Komatsu, Masayuki Sato, Akihiro Musa, Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題	Importance of Selecting Data Layouts in the Tsunami Simulation Code
3. 学会等名	2020 IEEE International Parallel and Distributed Processing Symposium Workshops (IPDPSW) (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Akihiko Musa, Takashi Soga, Takashi Abe, Masayuki Sato, Kazuhiko Komatsu, Shunichi Koshimura, and Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題	Evaluation of Tsunami Inundation Simulation Using Vector Scalar Hybrid MPI on SX-Aurora Tsubasa
3. 学会等名	Research Poster of the International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage, and Analysis (SC20) (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題	Performance Evaluation of SX-Aurora Tsubasa and Its Quantum Annealing-Assisted Application Design
3. 学会等名	Russian Supercomputing days 2020
4. 発表年	2020年

1. 発表者名 Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 The New Era of Hybrid-Computing on and with SX-Aurora TSUBASA: Vector-Scalar to Vector-Digital Annealing, to Vector-Quantum Annealing
3. 学会等名 31st Workshop on Sustained Simulation Performance
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林広明
2. 発表標題 高性能計算基盤の開発とそのデータ科学・計算科学融合型キラーアプリ
3. 学会等名 東北大学知のフォーラム: 実験家のためのデータ駆動科学オンラインセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 撫佐昭裕
2. 発表標題 大規模津波浸水被害推計シミュレーションのマルチプラットフォーム向け最適化手法の研究
3. 学会等名 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 第12回シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ohno K. and Y. Ohta
2. 発表標題 Real-time uncertainties evaluation of coseismic fault models and Tsunami inundation deduced from GNSS observations
3. 学会等名 JpGU2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tanaka Y., Y. Ohta and S. Miyazaki
2. 発表標題 Performance assessment of the GNSS carrier phase to fault slip approach and its feasibility for continuous seismic monitoring
3. 学会等名 JpGU2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kubota T., N.Y. Chikasada, R. Hino, Y. Ohta, H. Otsuka
2. 発表標題 Preliminary assessment of quality of the S-net long-term ocean bottom pressure observation for detection of the crustal deformation in the northern part of the Japan Trench
3. 学会等名 JpGU2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中優介, 太田雄策, 宮崎真一
2. 発表標題 PTS解析による2011年東北地方太平洋沖地震の地震時すべりから初期余効すべりまでの連続的な推定
3. 学会等名 日本地震学会2020年度秋季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中優介, 太田雄策, 宮崎真一
2. 発表標題 PTS解析による2011年東北地方太平洋沖地震の地震時すべりから初期余効すべりまでの連続的な推定
3. 学会等名 日本測地学会第134回講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 太田雄策
2. 発表標題 地震断層モデルの不確実性：分からないことの定量化
3. 学会等名 実験家のためのデータ駆動科学オンラインセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田大介, 太田雄策
2. 発表標題 単一矩形断層推定に対するハミルトニアンモンテカルロ法の適用可能性
3. 学会等名 2020年度J-CASC集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大塚英人, 太田雄策
2. 発表標題 DONET海底水圧計データに記録される非潮汐海洋成分の水深依存性
3. 学会等名 2020年度J-CASC集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 撫佐昭裕
2. 発表標題 SINETの防災利用, リアルタイム津波浸水被害推計システムでの利用
3. 学会等名 学術情報基盤オープンフォーラム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林広明
2. 発表標題 5. 東日本大震災からの教訓：防災・減災に資するICT基盤の構築を目指して～IoT・AIを活用した安心・安全な人と自然の共生型サイバー社会実証実験の取り組み～
3. 学会等名 NIKKEI AIサミット(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Real-time Tsunami Inundation Forecast System
3. 学会等名 Threats vs Technology: Building Resilient Nations & Businesses, Singapore (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Real-time Tsunami Inundation and Damage Forecasting in Japan - Present and Future
3. 学会等名 27th IUGG General Assembly (International Union of Geodesy and Geophysics) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Integrating real-time simulation, earth observation, and geo-informatics for assessing tsunami impact,
3. 学会等名 27th IUGG General Assembly (International Union of Geodesy and Geophysics) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Paradigm shift of Japan's tsunami disaster management for enhancing disaster resilience
3. 学会等名 12th International Symposium on Disaster Risk Management (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Enhancement of Earth Observation and Modeling for Enhancing Tsunami Disaster Resilience
3. 学会等名 11th Aceh International Workshop and Expo on Sustainable Tsunami Disaster Recovery (AIWEST) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yusuke Tanaka, Yusaku Ohta, Shin'ichi Miyazaki
2. 発表標題 Estimation of the real-time coseismic fault slip distribution via GNSS carrier phase to fault slip approach: Possibility of the application to near-field tsunami forecasting
3. 学会等名 AGU Fall Meeting 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yusaku Ohta
2. 発表標題 How real-time GNSS can contribute for the near-field tsunami forecasting
3. 学会等名 International Top-level Forum on Engineering Science and Technology Development Strategy: The Equipment for Satellite Navigation, Surveying & Mapping and Remote Sensing (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大野圭太郎, 太田雄策
2. 発表標題 リアルタイムGNSSによる断層すべり分布の不確実性定量評価の試み
3. 学会等名 日本測地学会第130回講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中優介, 太田雄策, 宮崎真一
2. 発表標題 PTS解析における未知パラメータ間分離精度の定量評価
3. 学会等名 日本測地学会第130回講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中優介, 太田雄策, 宮崎真一
2. 発表標題 Coseismic Slip Estimation of the 2016 Kumamoto Earthquake: via the GNSS Carrier Phase to Fault Slip Approach without external ephemerides
3. 学会等名 日本地震学会秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yusaku Ohta, Ryota Hino, Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Role of Real-Time GNSS in Near Field Tsunami Forecasting
3. 学会等名 10th ACES International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yusaku Ohta, Keitaro Ohno
2. 発表標題 Quantitative Uncertainties Estimation of the rapidly estimated coseismic fault model based on the real-time GNSS data
3. 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura, Erick Mas
2. 発表標題 Fusion of Sensing and Simulation of Tsunami Damage Assessment Towards Innovation of Disaster Medical System
3. 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Bruno Adriano, Shunichi Koshimura, Risa Nakano, Erick mas
2. 発表標題 Rapid Tsunami Source and Maximum Tsunami Height Forecasting Based on Interseismic Coupling Patterns: A Case Study of the 2011 Tohoku Tsunami
3. 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Erick Mas, Kouta Abe, Shinichi Egawa, Hiroyuki Sasaki, Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Agent Based Modeling of Disaster Response Teams after the 2011 Tsunami in Ishinomaki Area
3. 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akihiro Musa, Takahumi Kishitani, Takuya inoue, Hiroaki Hokari, Masayuki Sato, Kazuhiko Komatsu, Yoichi Murashima, Shunichi Koshimura, Hiroaki Kobayashi
2 . 発表標題 Performance Evaluation of a Real-Time Tsunami Inundation Forecast System on Modern Supercomputers
3 . 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Luis Moya, Eric, Mas, Bruno Adriano, Shunichi Koshimura
2 . 発表標題 A New Unsupervised Classification Method to Identify Collapsed Buildings
3 . 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shinichi Egawa, Tomomi Suda, Tracey Elizabeth Claire Jones-Konneh, Hiroyuki Sasaki
2 . 発表標題 National Disaster Medical System and its Coordination in Japan
3 . 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Hiroyuki Sasaki, Erick Mas, Shunichi Koshimura, Shinichi Egawa
2 . 発表標題 Relation Between the Damage of Medical Institute in Miyagi Prefecture Due to the Great East Japan Earthquake and Tsunami and the Occurrence of Preventable Disaster Death at Medical Institutions
3 . 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 江川新一、須田智美、中村やよい、佐々木宏之
2. 発表標題 シミュレーションソフトウェアの災害医学への応用
3. 学会等名 第24回日本災害医学会 総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiko Komatsu, Shintaro Momose, Yoko, Isobe, Mitsuo Yokokawa, Osamu Watanabe, Toshikazu Aoyama, Masayuki Sato, Akihiro Musa, Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 Performance Evaluation of a Brand-New Vector Computer SX-Aurora TSUBASA
3. 学会等名 IEEE/ACM International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis 2018 (SC18) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Komatsu, Takumi Kishitani, Masayuki Sato, Akihiro Musa, Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 Search Space Reduction for Parameter Tuning of a Tsunami Simulation on the Intel Knights Landing Processor
3. 学会等名 IEEE 12th International Symposium on Embedded Multicore/Many-core Systems-on-Chip (MCSoc-2018) Special session Auto-Tuning for Multicore and GPU(ATMG2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 A Real-Time Tsunami Inundation Forecasting System for Disaster Mitigation and Prevention-Lessons learned from the 2011 East-Japan Great Earthquake ~
3. 学会等名 ICT-DM2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 Operations and R&D of Modern Vector Supercomputers and their Applications
3. 学会等名 HPC2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸谷拓海, 小松一彦, 撫佐昭裕, 佐藤雅之, 小林広明
2. 発表標題 メニーコアプロセッサのためのパラメータチューニング時間削減手法
3. 学会等名 SWoPP2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhiro Kanatani
2. 発表標題 How to protect lives from disasters
3. 学会等名 The 14th Asia Pacific Conference on Disaster Medicine (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Miyazaki M, Okuda H, Haruyama S, Kanatani Y, Yoshitomi N, Iguchi S.
2. 発表標題 Developing a disaster response competency model for public health nurse leaders: Based on experiences of natural disasters in Japan
3. 学会等名 The 3th Asian Congress in Nursing Education (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Miyazaki M, Okuda H, Haruyama S, Kanatani Y, Yoshitomi N, Iguchi S.
2. 発表標題 Development of a training program using reflection for disaster management capacity building of public health nurse leaders
3. 学会等名 American Public Health Association Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江藤亜紀子, 金谷泰宏
2. 発表標題 仙台防災枠組における目標達成のために必要とされる災害県研究と比較した研究動向の分析
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura
2. 発表標題 Rapid tsunami inundation and damage forecasting with precise tsunami source model with GNSS data
3. 学会等名 GNSS Tsunami Early Warning System Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shunichi Koshimura, Yoichi Murashima, Akihiro Musa, Ryota Hino, Yusaku Ohta, Hiroaki Kobayashi, Masahiro Kachi, Yoshihiro Sato
2. 発表標題 Rapid Tsunami Inundation and Damage Estimation System with High-performance Computing and Networking
3. 学会等名 International Tsunami Symposium 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yusaku Ohta
2. 発表標題 How the real-time GNSS can contribute to near field tsunami early warning in association with other geophysical measurements
3. 学会等名 GNSS Tsunami Early Warning System Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Satoshi Kawamoto, Yohei Hiyama, Satoshi Abe, Naofumi Takamatsu, Yusaku Ohta, Takuya Nishimura, Masaru Todoroki
2. 発表標題 REGARD: GNSS-based rapid finite fault modeling system
3. 学会等名 pGU-AGU meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yusuke Tanaka, Yusaku Ohta, Shin'ichi Miyazaki
2. 発表標題 Estimation of the coseismic slip history deduced from the "GNSS carrier phase to fault slip" approach -The case of 2016 Kumamoto earthquake-
3. 学会等名 JpGU-AGU meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akiko Horiuchi, Ryota Hino, Yusaku Ohta, Hiroaki Tsushima
2. 発表標題 Near-field tsunami forecasting from offshore pressure data in association with the earthquake early warning
3. 学会等名 IAG-IASPEI 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yusaku Ohta
2. 発表標題 How the real-time GNSS can contribute to near field tsunami early warning?
3. 学会等名 ICG-12 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yusaku Ohta, Mako Ohzono, Hirotaki Takahashi, Satoshi Kawamoto, and Ryota Hino
2. 発表標題 Possibility of the real-time dynamic strain field monitoring deduced from GNSS data: case study of the 2016 Kumamoto earthquake sequence
3. 学会等名 AGU Fall meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yusaku Ohta
2. 発表標題 Future prospect of the rapid coseismic fault model estimation using the real-time GNSS data
3. 学会等名 World BOSAI Forum 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yusaku Ohta
2. 発表標題 Progress report on seafloor geodetic observation in Japan
3. 学会等名 UNAVCO Science Workshop 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takuya Inoue, Takashi Abe, Shunichi Koshimura, Akihiro Musa, Yoichi Murashima, and Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 Optimization of a tsunami inundation model with the polygonally nested grid system and MPI parallelization
3. 学会等名 International Tsunami Symposium 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 Early evaluation of the next generation vector system
3. 学会等名 NUGXXIX (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroaki Kobayashi
2. 発表標題 Two-Year Experiences with Vector Supercomputer SX-ACE and Design Space Exploration of the Next Generation Vector System
3. 学会等名 Russian Supercomputing Days 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasuhiro Kanatani
2. 発表標題 Perspectives in satellite and simulation technologies for disaster response
3. 学会等名 World Bosai Forum 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金谷泰宏
2. 発表標題 大規模災害時に向けた保健医療情報の共有と利活用
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 市川学、出口弘、金谷泰宏
2. 発表標題 災害時保健医療活動支援のための重症患者数推計システムの構築
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩崎大貴、金谷泰宏、市川学、出口弘
2. 発表標題 広域災害時におけるDMATの初期配置に関する検討
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 災害時に知るべきリスク、伝えるべきリスク
3. 学会等名 第23回日本集団災害医学会総会・学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 大地震における国立病院機構の役割-東日本大震災・熊本地震における活動を検証して-
3. 学会等名 第71回国立病院総合医学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 災害時におけるDMAT活動の変遷と保健行政との関わり方
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤久禎
2. 発表標題 病院避難の課題と対応
3. 学会等名 第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinichi Egawa, Makoto Okumura, Aya Murakami, Tracey Elizabeth Clair Jones, Hiroyuki Sasaki
2. 発表標題 System Dynamic Simulation for Medical Needs in the Great East Japan Earthquake
3. 学会等名 World Association for Disaster and Emergency Medicine 2017（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinichi Egawa
2. 発表標題 Medical Needs in Disaster and the Role of Health Cluster
3. 学会等名 FPH UI Science Festival (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinichi Egawa
2. 発表標題 Global health security in Pacific Basin
3. 学会等名 2nd Annual Meeting of Society of Disaster Medicine and Public Health (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 近藤久禎、河嶌譲	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本危機管理士機構	5. 総ページ数 -
3. 書名 危機管理士教本	

1. 著者名 日本医師会、横田 裕行、大友 康裕、小井土 雄一、山口 芳裕、跡見 裕、石川 広己	4. 発行年 2020年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 376
3. 書名 災害医療2020	

1. 著者名 野波健蔵編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 オーム社	5. 総ページ数 320
3. 書名 続・ドローン産業応用のすべて	

1. 著者名 東北大学災害科学国際研究所	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東北大学出版会	5. 総ページ数 230
3. 書名 東日本大震災からのスタート	

1. 著者名 Egawa S, Sasaki H, Suppasri A, Tomita H, Imamura F, Nagami F, Kanatani Y, Eto A, Koido Y, Kubo T, Kato H, Kim Y, Mashino S, Kayano R.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 World Health Organization	5. 総ページ数 -
3. 書名 WHO Guidance on Research Methods for Health and Disaster Risk Management.	

1. 著者名 Shunichi Koshimura (eds. J. Kirk Cochran Henry Bokuniewicz Patricia Yager)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ELSEVIER	5. 総ページ数 4306
3. 書名 Encyclopedia of Ocean Sciences 3rd Edition	

1. 著者名 福田幾夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 医薬ジャーナル社	5. 総ページ数 215
3. 書名 病院からの全患者避難	

1. 著者名 ヘルスケア総合政策研究所、西村 周三	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医療企画	5. 総ページ数 198
3. 書名 AIが創造する次世代型医療：医療白書：ヘルスケアの未来はどう変わるのか 2017 2018年版	

1. 著者名 Michael Resch, Wolfgang Bez, Erich Focht, Michael Gienger, Hiroaki Kobayashi	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 192
3. 書名 Sustained Simulation Performance 2017	

1. 著者名 Egawa Shinichi, Murakami Aya, Sasaki Hiroyuki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Healthy Community Resilient Against Disaster	5. 総ページ数 485
3. 書名 The 2011 Japan Earthquake and Tsunami: Reconstruction and Restoration	

〔出願〕 計3件

産業財産権の名称 復旧計画策定装置，復旧計画策定方法および復旧計画策定プログラム	発明者 小阪尚子，爰川知 宏，越村俊一，寺田 賢二郎	権利者 日本電信電話株 式会社，東北大 学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2019-142331	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 策定装置，策定方法，策定プログラム，策定システム及び端末装置	発明者 小阪尚子，爰川知宏，越村俊一，寺田賢二郎	権利者 日本電信電話株式会社，東北大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2020-115918	出願年 2020年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 復旧計画策定装置，復旧計画策定方法，及び復旧計画策定プログラム	発明者 小阪尚子，爰川知宏，越村俊一，寺田賢二郎	権利者 日本電信電話株式会社，東北大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2021-017368	出願年 2021年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	江川 新一 (EGAWA Shinichi) (00270679)	東北大学・災害科学国際研究所・教授 (11301)	
研究分担者	近藤 久禎 (KONDO Hisayoshi) (20332348)	独立行政法人国立病院機構本部(総合研究センター)・その他・DMA T事務局次長 (82696)	
研究分担者	マス エリック (MAS Erick) (30648374)	東北大学・災害科学国際研究所・准教授 (11301)	
研究分担者	小林 広明 (KOBAYASHI Hiroaki) (40205480)	東北大学・情報科学研究科・教授 (11301)	
研究分担者	金谷 泰宏 (KANATANI Yasuhiro) (40506317)	東海大学・医学部・教授 (32644)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	太田 雄策 (OHTA Yusaku) (50451513)	東北大学・理学研究科・准教授 (11301)	
研究分担者	柴崎 亮介 (SHIBASAKI Ryosuke) (70206126)	東京大学・空間情報科学研究センター・教授 (12601)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
連携研究者	日野 亮太 (HINO Ryota) (00241521)	東北大学・理学研究科・教授 (11301)	
連携研究者	撫佐 昭裕 (MUSA Akihiro) (40639655)	東北大学・サイバーサイエンスセンター・客員教授 (11301)	
連携研究者	佐々木 宏之 (SASAKI Hiroyuki) (90625097)	東北大学・災害科学国際研究所・准教授 (11301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 World Bosai Forum 2019, オーガナイズドセッション（主催）	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Asia Oceania Geosciences Society, Interdisciplinary Geoscience Session	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 World Bosai Forum 2017, Organized Session	開催年 2017年～2017年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------